

完了後の評価個表

整理番号	23
------	----

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	熊本県
地域（地区）名	あまくさ 天草	事業実施主体	県、市、森林組合等
関係市町村	かみあまくさ 上天草市ほか2市町	管理主体	県、市、森林組合等
事業実施期間	H23年度～H27年（5年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>本地域は、熊本県の西部に位置し、四方を海に囲まれ、北は有明海、西は東シナ海、南から東は不知火海に面している。</p> <p>総面積 87,839ha のうち森林が 57,985ha（森林率 66%）を占めている。このうち民有林が 56,824ha（民有林率 98%）、民有人工林が 23,061ha（人工林率 41%）となっており、他地域と比べ人工林率が低い。</p> <p>民有人工林の構成は、適正な保育・間伐を必要とするⅢ～ⅩⅡ 齢級が占める割合が 77%であり、特に、本地域は県内他地域と比べ若齢林の割合が高く、早急に間伐等を行い、水源涵養・山地災害防止機能等の公益的機能の発揮とともに効率的な木材の有効利用を推進するために、適正な森林施業が必要である。</p> <p>そのため、計画的な間伐、保育等の実施をはじめ、その基盤となる路網の整備、さらには森林組合や林業経営体、後継者の育成などを進め、低コストでの林業経営を目指し、関連施策の積極的活用を図りながら、持続可能な森林経営と地域の実情に応じた森林整備を推進することが望まれる。</p> <p>また、本地区は、優れた自然景観を有することから雲仙天草国立公園に指定され、レクリエーション・保健休養の場として、登山や森林浴など多くの人々に利用され、観光資源としての特性も兼ね備えている。</p> <p>このため、本地区内の森林の有する水源涵養機能や山地保全機能などの公益的機能を発揮するために必要な造林や間伐などの森林整備を積極的に実施したものである。</p> <p>・主な事業内容 森林整備 3,614ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>・総事業費 1,461,810千円（税抜き1,455,194千円） （平成 22 年度の評価時点 2,140,376 千円（税抜き 2,038,453 千円））</p>
----------	---

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>令和 3 年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益及び総費用と完了後の評価で算出した総便益及び総費用との差異については、労務単価の上昇や材価の下落に伴い、間伐等の実施控えや優先度の高い箇所から実行したことに伴う事業量の変動等によるものである。</p>
-------------------------	---

	<p>総便益（B）12,778,279千円（平成22年度の評価時点 10,068,281千円※）</p> <p>総費用（C）2,681,038千円（平成22年度の評価時点 2,124,775千円※）</p> <p>分析結果（B/C）4.77（平成22年度の評価時点4.73※）</p>
② 事業効果の発現状況	<p>・本事業で植栽されたスギ・ヒノキ及び広葉樹の成長は良好であり、保育によって3,614haの森林が整備され、水源涵養、山地保全等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。また、間伐の実施や高性能林業機械の使用等により効率的な作業が行われ、木材が安定的に供給された。</p> <p>・森林整備の実施により雇用の場が提供され、地域の社会経済に貢献した。</p>
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>整備された森林は、森林経営計画等により継続して適切に管理しており、良好な管理状況にある。</p>
④ 事業実施による環境の変化	<p>森林整備の実施により良好な森林が形成され、水源涵養、山地保全、木材等の林産物の安定供給等、様々な公益的機能が発揮されている。</p>
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>林業の現場では、担い手不足のため、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が進められており、担い手の確保とともに高性能林業機械のオペレーターを育成することが求められている。</p> <p>さらに、森林施業に資する林道と森林作業道の連結によって効率的・効果的な森林施業を持続的に行うことが求められている。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林の有する公益的機能の維持増進を高度に発揮させるため、耐久性と利便性に富む路網整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植え付け効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入、保育作業の省力化など低コストで効率的な作業システムの確立が重要である。</p> <p>また、森林所有者に対する普及啓発等を行い、積極的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p> <p>地元意見：</p> <p>（熊本県）</p> <p>森林整備事業実施によって水源涵養や山地保全等の公益的機能の発揮に寄与している。</p> <p>（上天草市）</p> <p>森林整備事業実施による松林の保全をはじめ、土砂流出の防止、水源涵養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与している。</p> <p>また、主伐、再造林、保育といった循環を加速化させ、森林の有する多面的機能の発揮のほか、雇用の確保に向けた取組を推進していきたい。</p> <p>（天草地域森林組合）</p> <p>森林施業（特に間伐）の集約化を図り、低コスト化を促進するとともに、森林所有者の林業経営意欲の向上を図るため、計画的かつ効率的な施業の実施に努める必要がある。</p>

評価結果	<p>必要性： 間伐等の森林整備等を通じて、水源涵養機能や山地保全等が図られ、地域における水源地や、土砂の流出防止等に重要な役割を果たしており、事業の必要性は認められる。</p> <p>効率性： 森林整備では現地の状況を踏まえた効率的な作業システムによりコスト縮減が図られており、費用便益分析の結果からも効率性が認められる。</p> <p>有効性： 森林資源の現況等を踏まえた計画的な事業の実施により、森林の有する多面的機能が向上し、引き続きその効果が継続されていることから、事業の有効性が認められる。</p>
------	---

※平成 22 年度の評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

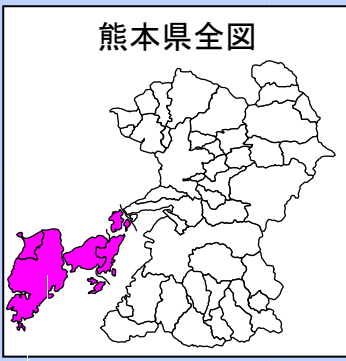
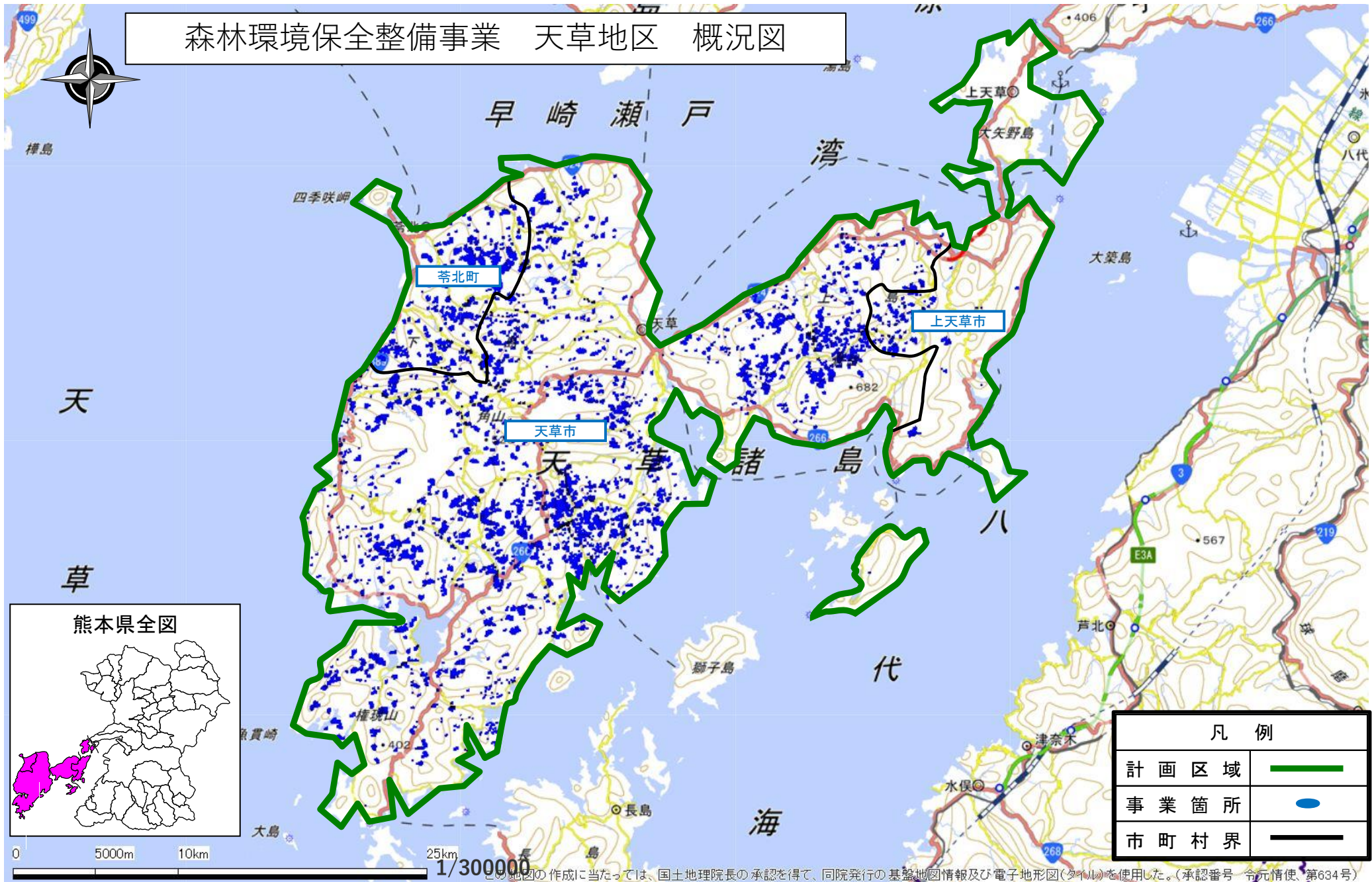
都道府県名：熊本県

地域(地区)名：天草あまくさ

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,482,928	
	流域貯水便益	909,993	
	水質浄化便益	3,959,910	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,980,226	
環境保全便益	炭素固定便益	1,589,385	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,855,837	
総 便 益 (B)		12,778,279	
総 費 用 (C)		2,681,038	
費用便益比	$B \div C = \frac{12,778,279}{2,681,038} = 4.77$		

森林環境保全整備事業 天草地区 概況図



凡例	
計画区域	
事業箇所	
市町村界	

0 5000m 10km

25km 1/300000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報及び電子地形図(タイル)を使用した。(承認番号 令元情使、第634号)